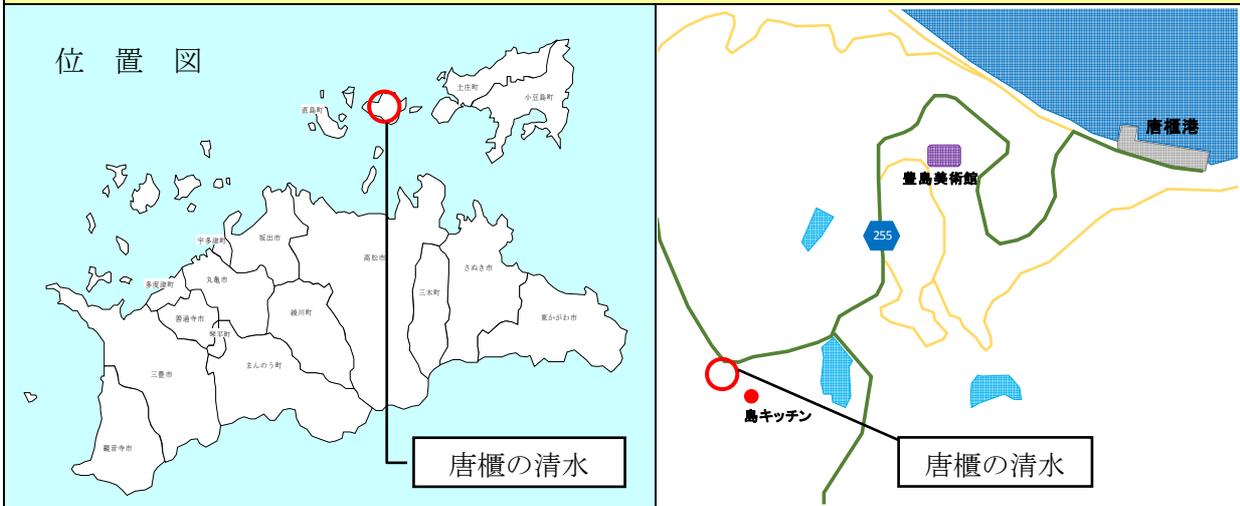


## 唐櫃の清水（からとのしみず）



豊島は小豆島の西方に浮かぶ周囲 22km の島です。「唐櫃の清水」とは、この豊島の中央にそびえる壇山のふもとの唐櫃岡に、豊富で清らかな水が絶えることなく湧き出ていることからそう呼ばれています。この湧き水は「霊泉越水」とも呼ばれ、その昔、ここに来られた弘法大師が喉の渇きを覚えて、自ら地面を掘られたところ、水が湧き出したと伝えられています。

現在、この湧き水は四季を通じて水温が変わらず、きれいなおいしい水として水道水源に、また、付近の田畑を潤すかんがい用水としても利用されており、地元の人々の生活と密接に結びつき大切に保全されています。

昔はこの泉が「井戸端会議」の場所で、地域の憩いの場となっていました。また、豊島を含む地域で瀬戸内国際芸術祭が開催され、おおいに賑わいました。民家を改装し、芸術祭を訪れるお客様に、豊島の食材を用いた料理を提供し話題となった「島キッチン」も近くにあり、夏の暑い盛りにも絶えず水温が変わらない水が湧き出ている「唐櫃の清水」は、芸術祭を訪れる人々に清涼感を提供しました。



唐櫃の清水



安部良「島キッチン」 撮影：中村脩